

農山漁村等地域の情報集積を活用した持続的可能な農山漁村等地域育成への貢献

タイトル 地域営農ビジョン

J A 名 種子屋久（鹿児島県）

1 動機 （経緯）	1. 種子島島内一体となった産地育成や栽培技術向上への取組 2. 冬期の安定出荷に向けた加温栽培の検討や土壌改善等、栽培技術の開発・向上 3. 担い手農家の育成、生産者の高齢化への対応、新規栽培者の確保育成等、産地体制の強化 4. 品質の向上や選荷・選別の徹底に努め、冬期の出荷量確保を図りながら相対取引を拡充し、年間を通じた価格安定を図り、花卉ブランド産地の充実・拡大を図りたく取り組むものであります。
2 概要	品目 「レザーリーフファン」 実施年度 平成 26 年度～平成 30 年度 1. 生産者の高齢化に伴う生産面積の確保 2. 県ブランド指定を維持するための部会組織の統一による生産性向上 3. 冬期の収量確保及び生産技術の向上 J A の各事業部門で指導並びに事業支援を実施します。
3 成果 （効果）	1. 冬期の出荷量を確保するため計画的な収穫方法の周知及び生産者毎の月別出荷計画書を作成し、生産者へ配布することで、計画的な出荷の成果がみられました。 2. 全生産者（ハウス）の土壌診断を行い、個別に土壌診断処方箋を作成し、巡回時に施肥指導および改植をすすめ、1 件の生産者が 10 a の改植を実施。次年度に期待がもてます。 3. 高齢化がすすむ中、担い手への栽培休止ハウスの斡旋を随時実施。 4. 販売生産カウンセリングを活用した指導を実施し、出荷状況、単収、単価の周知をすることで、生産者の栽培意欲が出ました。
4 今後の 予定（課題）	1. 施設導入に伴う資金借入れの簡略化と災害による補償の充実。